



福岡市政記者各位

令和元年9月9日

北部九州初!!! ~総務省消防庁からの貸与車両~
ドラゴンハイパー・コマンドユニットの中核車両を配備!

ド迫力の長距離大量放水訓練を披露!!!



長距離放水 最大 100m!!!

「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」とは、石油コンビナート等の大量放水が必要な火災等が起きた際に備えた部隊「エネルギー・産業基盤災害即応部隊」の通称です。今回その中核を担う2台1組の車両が、福岡市消防局に配備されました。その運用を9月1日から開始したため、大量放水訓練の展示を下記のとおり行います。ぜひ取材をお願いいたします。

日時	令和元年9月13日(金) 10:30~12:00	
場所	南区五十川1丁目3番 付近 (那珂川 番托井堰) ※別図参照	
訓練内容	両車両の機能紹介 大量放水の実演 ※車両の詳細については別添資料参照	

【問い合わせ先】福岡市消防局警防部警防課 担当：秋山, 豊田 TEL:725-6551

※災害等により訓練を中止する場合がありますので、取材を希望される場合は事前にお問い合わせ下さい。

ドラゴンハイパー・コマンドユニットとは

東日本大震災において、関東から東北の広範囲にわたりエネルギー・産業基盤である石油コンビナート等特別防災区域で大規模火災が同時多発し、周辺地域での被害だけでなく経済的にも大きな影響を与えました。

総務省消防庁では、石油コンビナート・化学プラント等の災害に備え、緊急消防援助隊に「エネルギー・産業基盤災害即応部隊（以下「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」という。）」を全国 12 地域に編成することとし、平成 30 度末、福岡市消防局に 2 台の車両が配置されました。

今回当局に無償貸与されたのは、そのユニットの中核を担う「大容量送水ポンプ車」「大型放水砲搭載ホース延長車」の 2 台であり、両車両が連携して放水活動を行い、市内災害では今年 9 月 1 日から本格的な運用を開始します。

※江戸時代に使われたポンプ式の消火道具、竜吐水（りゅうどすい）にちなみドラゴンの名称がついたもの。

【車両概要】

この車両は、石油コンビナート等災害や大規模火災等、大量の放水活動が必要な災害が発生した場合に、海水や河川等から大量に水を吸い上げ、長距離の送水を可能にし、さらに大量の放水を実施することが出来ます。



【大容量送水ポンプ車】

海や河川等のあらゆる水利から取水が行える小型軽量水中ポンプを搭載しており、さらに車載の大型消防ポンプ（A-1級）で加圧することで、

遠距離（1km先）への大容量送水
が可能。

【大型放水砲搭載ホース延長車】

大口径の 150mm ホースを 1 km 積載しており、走行しながらホース延長が可能であるとともに、車両上部に搭載された大型放水砲と車載の大型消防ポンプ（A-1級）を活用することで、

最大毎分 8,000 ℓ の大容量放水と
最大 100m の長距離放水が可能。

現地地図

五十川 1 丁目 3 番 付近（那珂川 番托井堰）※下川原公園付近

